

事業概要：仙台市外国人留学生等活躍推進事業

新規

申請者	宮城県仙台市					初回採択回	令和 8 年 1 月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	94,809千円 (27,978千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	仙台市に集まる留学生や研究者、またその帯同家族（以下「留学生等」）に対して地域と交流する機会を創出し地域への愛着を醸成するとともに、地域企業の外国人材採用に関するノウハウ獲得を進めることで、留学生等の多様な知識・経験を新事業やサービス創出による付加価値向上、新市場開拓や地域の活性化につなげ、多様な人材が活躍し、持続的に発展する地域社会の実現を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 留学生等と地域ニーズをマッチングする仕組みを構築し、留学生等の経験やスキルを地域で生かす機会を創出する。また、地域企業に対して、外国人材採用に関するセミナーや個別相談会の実施、課題整理や企業の検討フェーズに応じた伴走支援、インターンシップのプログラム作成及びマッチング支援、企業の魅力を伝えるイベント等を実施する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・留学生等と地域との交流の実施（委託料）7,500千円 ・留学生等への情報発信、企業訪問によるニーズ把握、長期有給就業体験・インターンシップ、交流イベント等の実施（委託料）18,978千円 ・企業向けセミナー・個別相談会の実施（補助金）1,500千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①本市における生産年齢人口の減少数（+155人） ②留学生等と地域企業・団体等の交流に係るマッチング件数（+24件） ③本事業で開催する企業向けセミナーの延べ参加企業数（+30社） ④個別支援企業数（+20社） ⑤長期有給就業体験・インターンシップ受入れ企業数（+15社） ⑥留学生向けイベントの参加者数（+200人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.sendai.jp/mac-hizukuri-kakuka/tiikimirai/tiikimirai.html

事業概要：重点産業スタートアップ誘致・実証支援事業

新規

申請者	宮城県仙台市					初回採択回	令和 8 年 1 月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	93,000千円 (18,000千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	域外からの大学発スタートアップの呼び込みを進め、産業ごとのクラスターを形成することで、同じような課題や悩みを抱えるスタートアップの経営者の交流や、ノウハウやネットワークの共有が図られ、大学発スタートアップが仙台・東北に根ざして成長し、国内外の市場開拓へ挑戦できる環境の構築、及び仙台・東北に住まう若者にとって魅力的な仕事、働く場の創出を目指す。						
事業概要・主な経費	【事業概要】 東北大学が強みを持つライフサイエンス・ヘルスケア、環境・マテリアル及びアグリテック、マテリアル分野の域外スタートアップに対して、専門家による伴走支援を通じ、ニーズヒアリング・誘致プロモーション(3社の新規支援を想定)、スタートアップの実証伴走支援（販路開拓支援、実証フィールド・共同研究環境構築支援、事業成長に向けた戦略作成支援等）を行う。					【スキーム】 	
	【R8年度事業 経費内訳】 ・委託料：18,000千円 （内訳）事務局運営 12,000千円/外注費（広報、イベント運営等） 5,000千円/ イベント会場等使用料 1,000千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①支援を行ったスタートアップによる雇用創出による若者(20～24歳層)の市外転出者数の減少数（▲600人） ②支援を行ったスタートアップによる雇用創出数（+12人） ③本市への域外スタートアップの拠点開設数（+9社） ④本事業を通じた仙台・東北スタートアップ・エコシステム・コンソーシアムの会員等と連携した実証の実施件数（+30件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.sendai.jp/mac-hizukuri-kakuka/tiikimirai/tiikimirai.html

事業概要：「まちなか実証ラボ」及び「オープンイノベーション共創・協業支援」事業

新規

申請者	宮城県仙台市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	108,050千円 (28,050千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・市内で集積が進む大学発スタートアップが有する技術やアイデアを、実証やオープンイノベーションの取組を通じて磨き上げ、事業として成立させていくプロセスを支援することで、産学官の取組みにより集積したスタートアップの持続的な成長を促す。 ・先端研究から起業、成長、地域定着、社会実装までが地域内で連続的に展開されるイノベーションエコシステムを構築することで、地方から新たな産業と雇用を創出し、地域経済の発展を目指す。						
事業概要・主な経費	【事業概要】 実証支援事業（まちなか実証ラボ支援事業）では、大学発スタートアップが行う市民参加型実証を、企画検討から利害関係者調整、広報まで包括的に支援する。また、オープンイノベーション共創・協業支援事業では、大学発スタートアップを成長フェーズや技術特性に応じてニーズ整理から協業先の探索、協業開始までを戦略的に支援する。併せて、大学発スタートアップ、地元企業、大企業等で構成される共創・協業コミュニティを構築する。					仙台市では研究環境の整備が進み、都心に大学発スタートアップの集積が進む 仙台市 研究拠点整備 東北大学 人材輩出 ナノテラス 先端研究 課題 実証環境不足 共創・協業機会の不足 交付対象事業 実証支援事業 連携 まちなか実証ラボ 都市部商店街の空きテナントを活用し、市民参加型実証を企画から広報まで一体支援 製品・サービスの完成度向上や事業化の加速 + 商店街の活性化 オープンイノベーション共創・協業支援事業 連携 伴走支援事業 成長フェーズ・技術特性に応じ、協業ニーズ整理から協業開始までを戦略的に支援 コミュニティ形成 大学発スタートアップ、地元企業、大企業等で構成するコミュニティを構築しネットワークや知見の共有を促進 連携 スタートアップの継続的な成長を支える共創環境の形成 起業から社会実装まで展開されるイノベーションエコシステムを構築	
	【R8年度事業 経費内訳】 ・まちなか実証ラボ企画・運営・管理 関係者調整、ラボ立上げ・運営(委託料) 6,000千円 ・実証事業者の探索・企画コーディネート及びそのPR 事業者選定、実証設計・実施支援、商店街調整(委託料) 10,500千円 ・オープンイノベーション共創・協業支援事業 協業開始支援、コミュニティ立上げ・運営、イベント開催等(委託料) 11,550千円						
主なKPI	①本事業参画企業の新規雇用者数（+225人） ②「まちなか実証ラボ」を活用した実証件数（+12件） ③共創・協業開始数（+45件） ④イノベーション・コミュニティの参画企業数（+150社） ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値					URL	https://www.city.sendai.jp/mac-hizukuri-kakuka/tiikimirai/tiikimirai.html
						※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	

事業概要：成長企業創出による地域経済活性化推進事業

新規

申請者	宮城県仙台市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	851,031千円 (134,770千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・「支店経済構造」「若年層流出」「成長企業の不足」等の構造的課題を踏まえ、“攻め”の支援（※）で市内中小企業の稼ぐ力を底上げし、成長企業創出を図る。 ・本質的な課題抽出→重層的支援→企業間ネットワーク構築による支援、の三段階支援により、売上拡大・生産性向上・人材確保等を一体的に支援することで、地域経済の維持及び拡大を実現させる。 ※“攻め”の支援…成長志向の高い企業に重点的に支援し、規模拡大を通じて地域経済を押し上げる“成長加速型”の支援						
事業概要・主な経費	【事業概要】 企業の成長に向けた課題の抽出や分析等を民間コンサルタントに委託するほか、成長意欲の高い企業に対しては3年間の伴走支援（総合的コンサル、マインドセット研修、現場改善、成長投資を促す補助金）を一体的に行う。また、企業・金融機関・支援者・他自治体等を対象とした交流イベントの実施等により、企業間ネットワークを構築する。 【R8年度事業 経費内訳】 ・専門家による課題分析支援（委託料）：10,000千円 ・将来的な100億企業輩出に向けた伴走コンサル支援、新事業展開に取り組む企業への補助金等の総合的支援（委託料、補助金等）：120,770千円 ・企業間ネットワークを通じた支援（委託料）：4,000千円					成長企業創出による地域経済活性化推進事業の全体イメージ	
主なKPI	①市内総生産（実質）の増加（+87億7700万円） ②成長志向企業の増加（+27.7%） ③付加価値向上コース活用企業における付加価値増加額（+24億3575万円） ④100億達成企業社数（+28社） ⑤支援メニューの重層活用社数（+20社）					URL	https://www.city.sendai.jp/mac-hizukuri-kakuka/tiikimirai/tiikimirai.html

事業概要：アートによる定禅寺通魅力創出事業

新規

申請者	宮城県仙台市					初回採択回	令和 8 年 1 月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	175,040千円 (81,040千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	定禅寺通は、本市のシンボルロードであり、文化芸術活動の舞台としてのイメージを有する一方、近年は駅前エリアへの人流集中により活力低下が懸念されている。このため、再整備方針に基づく歩道拡幅等による「ひと中心の空間」への転換を契機に、視覚芸術や障害者アート等の新たな文化芸術活動を展開し、文化芸術の舞台としての価値向上と、多様な市民が交流し共生する環境の形成を図る。本取組により、定禅寺通の文化的魅力を向上させ、多様な市民や来訪者が活動する場とすることで、再整備終了後の定禅寺通エリアの交流人口拡大・地域経済の活性化を実現する。また、障害者アートの取り組みにより、障害への理解や障害のある方の社会参加の機会増加につなげる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 エリア内で展開する大型アート展示や市内のアーティスト育成や、地域へのアートの長期的定着を目的とした地域密着型プロジェクト、ワークショップ等を通じて市民参加とアート人材の育成を進めるほか、障害者アート展示やストリートファニチャーのコンペ実施により、多様な主体が関わり市内外から多くの人々が訪れる魅力的な都市空間を創出する。					 (定禅寺通)	
	【R8年度事業 経費内訳】 ・地域密着型プロジェクト企画・監修・制作費（ワークショップ含む）：16,700千円 ・大型プロジェクト企画・監修：23,000千円 ・テンポラリーアーキテクチャープロジェクト企画準備費：1,000千円 ・障害者アートプロジェクト実施費：18,000千円 ・大型アート作品施工費：22,340千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①仙台市観光統計基礎データにおける観光客入込数（+9%） ②定禅寺通に接続する商店街の通行量（+2%） ③ワークショップ実施数（+6回） ④スタンプラリーの景品交換件数（+1.6倍） ⑤障害者アートのアンケートで『障害理解が進んだ』とする人の割合（+4%） ⑥地下鉄南北線勾当台公園駅乗車人員（+11%）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.sendai.jp/machizukuri-kakuka/tiikimirai/tiikimirai.html

新規

凡例

実証運行実施地区（本事業対象地区）

本格運行実施地区

新川地区

秋保地区

凡例

JR

地下鉄

みんなで変える路線 / スエア

みんなで育む多様な交通確保エリア

平沼地区

生田地区

郡山・八本松地区

田子・余目地区

岡田・鶴巻地区

六郷東部地区

泉西部地区

燕沢地区

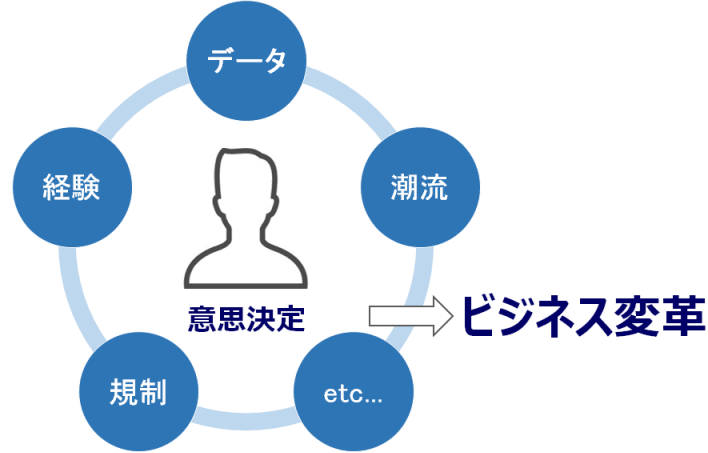
事業概要：地域資源を活用した次世代を担うこどもへの多様な遊びや体験機会の創出事業

申請者	宮城県仙台市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R12年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	6,484,116千円 (132,026千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・地域資源を最大限にいかし、こどもの多様な遊びや体験機会を創出し、子育て世帯から選ばれる持続可能で活力あるまちづくりを進める。 ・屋内遊び場の整備は、子育て施策に留まらず、来訪者や交流人口の増加を地域消費の拡大につなげ、地域経済の活性化を図る。 ・周辺の文化施設や商業地域との連携により、周辺エリアの回遊性や滞在性を高め、交流人口の拡大につなげるエリア形成を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 地域資源の掘り起こしを行い、こどもに遊びや文化芸術等の体験の機会を提供するソフト事業を展開する。また、子育て家庭のニーズに応える屋内遊び場を整備し、施設を核としたこどもの多様な遊び・体験機会を創出する。加えて、子育て家庭をターゲットとした地元企業の販路開拓により地域経済への波及効果を生み出すほか、文化施設や商業地域に隣接する立地特性をいかし、多様な主体との連携を図りながら、回遊・滞在型のエリアを形成する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・魅力向上に資する地域資源の掘り起こし、事業展開・計画 こどもの遊びを通じた地域の魅力創出事業（委託料等）18,446千円 屋内遊び場を拠点としたエリアの魅力創出事業（委託料等）17,916千円 こどもの文化芸術体験機会創出事業（委託料等）7,254千円 ○インフラ整備事業 ・回遊・滞在型のエリア形成 都市公園等事業（広瀬川河川緑地）50,650千円 都市公園等事業（西公園）37,760千円						
主なKPI	①若年層人口（20歳～39歳）の転出入者数（+420人） ②笑顔咲く子どもプロジェクトに対する市民の評価（+0.2点） ③屋内遊び場の年間来場者数（+27万人） ④屋内遊び場利用者の周辺回遊率（+20%） ⑤屋内遊び場における地元企業と連携した取組日数（+100日） ⑥遊び場展開及び文化芸術体験アウトリーチ事業への実施回数（+80回）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.sendai.jp/machizukuri-kakuka/tiikimirai/tiikimirai.html

※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値

申請者	宮城県仙台市					初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	364,077千円 (89,150千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・スマートシティを実現することで、地域課題の解決を目指す。 ・市民が日々の暮らしの中でデジタル化による利便性や手ごたえを感じることで、住みやすい都市として選ばれるようになることを目指す。 ・仙台で構築したモデルを宮城、さらには東北へと展開し、東北全体の持続的発展につなげていく。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ○データプラットフォームの運営 民間事業者によるデータの連携・利活用を図る。より利活用価値のあるデータの整備や、データ連携基盤活用サービスの創出等を行う。 ○仙台市×東北大学スマートフロンティア協議会運営 産官学連携により新たなサービス層の実証等を効果的に進める。 ○ユースケース創出事業 地域課題を解決するサービスを充実させるため、先端的なサービス・アプリ開発等を行う。オンライン診療カーの機能強化・広域実証を行う。					スマートシティの実現 データの利活用 サービスの充実 デジタル技術の導入 取組み 地域の課題やニーズ(イメージ) 脱炭素社会実現 産業物削減 医療費の適正化 健康寿命の延伸 まちのレジリエンス向上 まちの回遊性向上 交流人口の拡大 持続可能な移動手段の確保 中小企業の人材確保 デジタル人材育成	
	【R8年度事業 経費内訳】 ・DATA SENDAIプラットフォームの運営 プラットフォーム運営支援業務・提供データ拡充費用(委託料) 8,250千円 データ連携基盤を活用したユースケース創出(委託料) 7,000千円 ・仙台市×東北大学スマートフロンティア協議会運営 協議会運営(委託料) 30,500千円 ・ユースケース創出事業 複数のサービス・アプリ開発(負担金) 30,000千円 オンライン診療カーの機能強化・広域連携実証等(負担金)13,400千円						
主なKPI	①データを活用したサービスの実証・実装件数(+33件) ②本事業により創出したサービス登録者数(+3,650人) ③市民ポータルの利用者数(+4,300人) ④オンライン診療カーを利用した患者数(+1,178人)					URL ※交付金の具体的な使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.sendai.jp/machizukuri-kakuka/tiikimirai/tiikimirai.html

事業概要：産学官連携で取り組むデータインフォームド型のビジネス変革推進事業

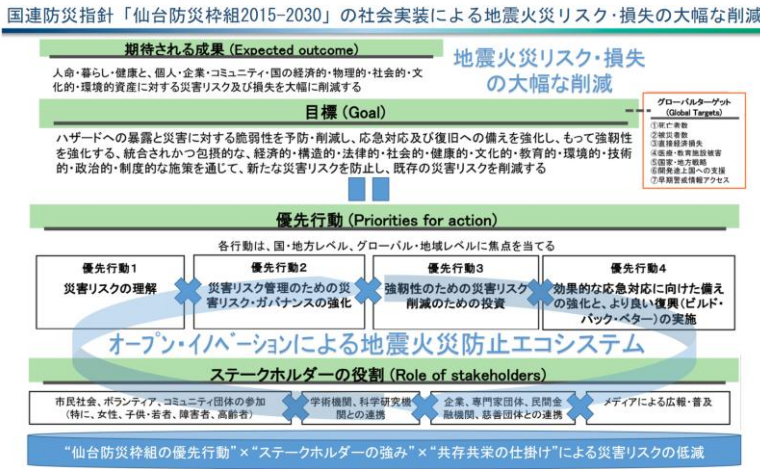
申請者	宮城県仙台市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	160,380千円（55,460千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	企業による「データ利活用」の促進に加え、データ・経験・潮流など複合的要素を意思決定に活用するデータインフォームド型のビジネス変革を推進することで、地域企業の付加価値の高い新ビジネスの創出・既存事業の高度化を実現するとともに、データインフォームド型のビジネス変革を担える学生・若者の地元定着や流入を促し、地域全体の経済的発展を実現する。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 地域企業を対象とした、データ利活用の重要性を学び、自社のビジネスに取り入れるためのセミナー・ワークショップの実施や、データ利活用のリテラシー向上に繋がるオンライン学習プログラムの提供のほか、地域企業によるAI等を活用した新規ビジネスの実証実験を支援し、地域企業の経済的発展を図る。		
	【R8年度事業 経費内訳】 ○データインフォームドによる高付加価値ビジネス創出 ・データ利活用PBL（委託料） 10,460千円 ・ビジネス創出プログラム（委託料） 10,000千円 ・専門家による伴走支援（委託料） 10,000千円 ○データ利活用人材の創出・育成 ・教育プログラム（委託料） 7,000千円 ○モデルケース創出に向けた実証実験支援 ・実証実験に係る経費（委託料） 12,000千円 ○経営層を中心としたネットワーク構築・戦略的情報発信 ・企業間ネットワーク構築事業（委託料） 1,000千円 ・戦略的情報発信、戦略策定（委託料） 5,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画 における「KPI増加分の累計」 の目標値	①地域における新規雇用者数（+105人） ②データ利活用によるビジネス創出数（+90件） ③創出・育成されたデータ利活用人材人数（+660人） ④モデルケース創出に向けた実証実験数（+11件）		URL ※交付金の具体的使 途・実施体制・効果検 証の結果及び改善方策 への反映が記載されてい るURL https://www.city.sendai.jp/machizukuri-kakuka/tiikimirai/tiikimirai.html

事業概要：大阪・関西万博を契機とした地域連携による外国人旅行者の新規開拓プロジェクト

申請者	宮城県仙台市ほか 5 自治体					初回採択回	令和 7 年度第 1 回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	117,654千円 (29,016千円)
事業類型	ソフト 事業	✓	拠点整 備事業		インフラ 整備事業		
目的・効果	年齢や心身の状態に関わらずその土地の魅力を感じることができる事業を実施することで、東北への興味関心や愛着を醸成し、誰ひとり取り残さない観光のあり方を検討するとともに、持続可能な観光地域づくりを目指す。 ・高機能な開発拠点を核に、伝統ある地域の特産品のブランド化を展開し、地場産業の付加価値向上を目指す。 ・地域全体で新たな販路開拓に向けたノウハウやネットワークを学び、地域課題である伝統産業の伝承や成長に繋げる。 ・海外企業とのビジネスを通じた外需獲得に向け販路開拓等を幅広く支援し、地域経済の拡大を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 多言語対応ウェブサイトの構築・活用を通じた情報発信、バーチャル技術を活用した観光素材によるプロモーション、観光物産プロモーションの 3 つを軸に事業を実施する。本事業を通じ、インバウンド旅行者向けに旅マエ・旅ナカ双方でのプロモーションを行うことで、祭りのみに限らない、多彩な東北の魅力を発信する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○インバウンド向け情報発信事業 ・WEBサイト改修（多言語対応・掲載記事作成）、WEB広告（委託料）2,500千円 ・バーチャル技術を活用した情報発信（委託料）2,500千円 ○外国人旅行者及び国内在住外国人向け観光物産プロモーション事業 ・企画管理調整費（委託料）22,800千円、（消耗品費）200千円 ・トップセールスに係る経費（旅費）1,016千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①東北六県観光消費額（+1,758億円） ②インバウンド向けプロモーション接触者数（+32万人） ③インバウンド向けプロモーション実施回数（+3回） ④WEBサイトPV数（+27,765PV）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.sendai.jp/mac/hizukuri-kakuka/tiikimirai/tiikimirai.html

申請者	宮城県仙台市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	259,250千円 (84,750千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		

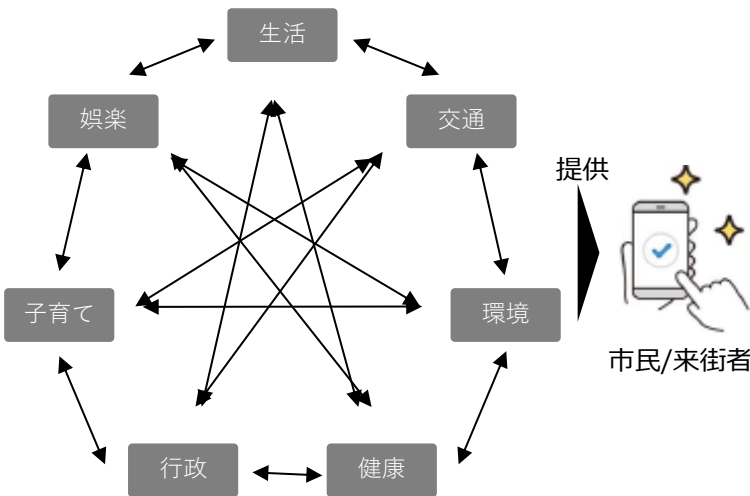
目的・効果	長町-利府線断層帯地震等による本市被害の大幅な削減を目的に、産学官金民連携による地震火災防止イノベーション・エコシステムを形成し、地震火災リスクの低減を図る。						
-------	---	--	--	--	--	--	--

事業概要・ 主な経費	【事業概要】 長町-利府線断層帯地震等により想定される災害リスク及び損失を大幅に削減するため、産学官金民連携組織（コンソーシアム）による「地震火災防止イノベーション・エコシステム」を形成し、仙台防災枠組の優先行動に資するソリューションの創出及び連携と、感震ブレーカー設置費用支援や、地震火災防止に係る行動変容の定着を図る。 併せて、産学官金民連携組織（コンソーシアム）による「地震火災防止イノベーション・プラットフォーム」をWEB上に構築し、全てのステークホルダーが地震火災防止に係る行動変容を主体的に推進する。 更には、取組実績を検証しながら、本事業を次世代の社会課題解決モデルとして、全国への展開を図る。							
	【R8年度事業 経費内訳】 ・地震火災防止エコシステム形成に向けた産学官金民連携基盤の構築等 36,350千円 ・地震火災対策事業開発プログラム 10,950千円 ・地震火災防止イノベーション・プラットフォーム発信 5,000千円 ・感震ブレーカー設置促進に係る各種事務 業務委託 32,450千円							

主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	① 長町-利府線断層帯地震等で削減する死者・重傷者数（+255人） ② 長町-利府線断層帯地震等で削減する焼失棟数（+4,740棟） ③ 産学官金民連携による地震火災防止イノベーション事業創出件数（+45件） ④ 仙台防災枠組「優先行動1から4まで」が連環した本数（+23本）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.sendai.jp/mac hizukuri-kakuka/tiikimirai/tiikimirai.html
---	--	--	--	--	--	---	---

事業概要： Web3.0時代の地域と「仙台アルムナイ」との持続的なコミュニティ形成による新たな価値創出事業

申請者	宮城県仙台市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	100,000千円 (20,000千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	人口減少下における新たな地方創生モデル実現に向けて、地域と「仙台アルムナイ（仙台市に居住歴のある等の市外在住者）」とを繋ぐことの優位性を検証するとともに、まちづくりや企業活動をはじめ、仙台をフィールドに展開される様々な取り組みの中で、「仙台アルムナイ」の活躍の機会創出と付加価値創造を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 本市を含む地域一体的なコミュニティとして「仙台アルムナイ」（仙台市に居住経験があるなど、一定の要件を満たす域外在住者）との持続的な関係性を可視化しながら構築し、仙台をフィールドとした多様な主体による価値創造の取組みの中でそのポテンシャルを最大限活用することができる環境を構築することにより、人口減少局面にあっても持続的発展が可能な新たな地方創生モデルの実現を図る。						
	【R8年度事業 経費内訳】 地域と「仙台アルムナイ」との関係性を活かした人材活用のありかたに関する検証・実証 ・ 事業全体管理、調査（机上・ヒアリング等）、効果検証等の事務局業務に係る人件費・旅費、実証経費等 20,000千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域交流人口数（+210名） ②地域と「仙台アルムナイ」との交流機会の件数（+12件） ③プラットフォームの活用・連携を通じた新たなプロジェクトやサービス（プロトタイプを含む）の件数（+6件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.sendai.jp/machizukuri-kakuka/tiikimirai/tiikimirai.html

申請者	宮城県仙台市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	200,000千円 (50,000千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	デジタル化の進展で働く場所を問わなくなった時代に、居住地として仙台市を選択してもらうため、デジタルとリアルを融合した事業を通し、生活に不可欠なサービスや自分のライフスタイルに合ったサービスが簡単に受けられる都市Full Digital SENDAIを実現する。ひいては、仙台市としての住みやすさを向上させ、人口減少の抑制を目指すとともに、地域の歴史や文化、強みに根差した多様な「ひと」の交流と活躍の場を創出し、魅力の向上や経済活性化につなげる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 共通UIをベースに生活に不可欠なサービスに対してSSO（シングルサインオン）を実施し、より簡単・手軽に利用できるよう環境を整備する。また、生活に不可欠なサービス間の利用者データの連携・分析・活用により、行動変容を促しながら街なかへの回遊を誘引する施策・機能の検討・実証を行い、それぞれのサービスの更なる利用促進のため、新たなインセンティブモデルを構築する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○SSOするサービスの実証・提供等 ・SSO機能実証・実装費用：15,000千円 ・生活に不可欠なサービス等のデータ連携・機能追加に係る設計・実証費用 10,000千円 ○周遊促進の施策・機能の実施・構築 ・周遊促進の施策・機能の実施・構築：15,000千円 ○インセンティブモデルの実証 ・実証費用：10,000千円						
主なKPI	①仙台市における人口減少数（+567人） ②「住みやすい理由」の「通勤・通学・買い物など生活が便利」の回答割合（+1.89%） ③SSOするサービスの実装件数（+6件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.sendai.jp/machizukuri-kakuka/tiikimirai/tiikimirai.html

事業概要：ライフステージの転機を捉えたUIターン促進事業

継続

申請者	宮城県仙台市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	85,030千円 (31,140千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	首都圏在住で仙台・東北にゆかりのある20代半ば～30代の社会人を主なターゲットとし、仙台の仕事や暮らしについての情報発信を行うとともに、オンラインと首都圏でのリアルイベントの開催等を通じて、SNS等での母集団の形成を図ることで、本市へのUIターン転職・移住を促進する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 動画メディアを立ち上げ、仙台の仕事や暮らしについての情報発信を行うほか、オンラインと首都圏でのリアルイベントを織り交ぜながら開催することで、SNS等での母集団の形成を図り、首都圏に点在しているUIターン関心層及びUIターン転職希望者を顕在化させる。 また、新たにUIターンウェルカム企業の見える化及びUIターン転職希望者と地域企業のオンライン面談を実施する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ライフステージの転機を捉えたUIターン促進事業 ・委託料 31,140千円 (うち人件費8,162千円、動画製作費5,266千円、SNS等運営費3,857千円、WEBデザイン費979千円、イベント運営費8,371千円、オンラインカジュアル面談実施費3,085千円、UIターンウェルカム企業リスト化にかかる経費1,420千円)						
主なKPI	①宮城県移住支援事業に係る移住支援金を交付した者のうち本事業を契機に移住した者の件数 (+55人) ②本事業にて運営するSNSアカウントの登録者数 (+4,500人) ③本事業で開催するイベントの延べ参加者数 (+560人)					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.sendai.jp/machizukuri-kakuka/tiikimirai/tiikimirai.html

事業概要：「国際経済都市・仙台」の実現に向けたスタートアップ創出加速化事業

申請者	宮城県仙台市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	171,600千円 (56,300千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	東北大学の国際卓越研究大学認定を変革期ととらえ、スタートアップ企業の経営経験等を有する人材を国内外から募集し、大学等の技術シーズを活用した事業立ち上げを加速させる。併せて、若者のための起業家人材の育成事業や、仙台で起業を目指す外国人に対する環境の構築と支援を実施し、多様な人材が活躍し、若い世代が挑戦できる地域社会の実現を促進させる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ・高専生、高校生を対象に、AIの分野でグローバルに活躍するスタートアップ経営者による講演やAIスキル習得のためのプログラムを実施する。 ・起業やスタートアップへの就職（インターン含む）に関心がある在仙外国人（留学生含む）向けに起業・就職をテーマにした講演会や交流会等を開催する。 ・スタートアップの経営経験等を有する人材を国内外から募集・採択し、起業意欲の高い研究者とのマッチングを図り、大学等の技術シーズを活用した新規事業の立ち上げを支援する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○次世代起業家等育成支援(高専生高校生テック・AI実践プログラム) ・運営費（委託料）4,580千円 ・会場費（委託料）100千円 ・外注費（委託料）320千円 ○外国人起業家輩出支援 ・運営費（委託料）10,300千円 ・通信費（委託料）200千円 ・備品費（委託料）300千円 ・会場費（委託料）1,500千円 ・外注費（委託料）1,500千円 ○技術シーズ・経営人材マッチング支援 ・運営費（委託料）20,000千円 ・会場費（委託料）4,000千円 ・外注費（委託料）10,000千円 ・消耗品費（委託料）3,500千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における起業家数（準備中含む）（+18件） ②次世代起業家等育成支援プログラム参加者数（+130人） ③外国人や留学生からの起業相談件数（+60件） ④在留資格（起業・就職）に係る相談対応件数（+50件） ⑤在仙外国人のコミュニティ参加者数（+900人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.sendai.jp/machizukuri-kakuka/tiikimirai/tiikimirai.html

申請者	宮城県仙台市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	116,343千円 (36,414千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	- 水田において、稲作の作付け前や収穫後に園芸作物や他の穀類を栽培する輪作体系の構築及びスマート農業技術の活用による実証により、効率的で収益性の高い持続可能な農業モデルの実現を目指す。 - 集落営農組織に対し、経営方針策定や事業継承、雇用環境整備等の伴走支援を行い、経営基盤の強化を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 生産環境が大きく異なる本市東部と西部の各地域において、生産性や効率性を高めるための輪作体系の構築に係るモデル実証を行う。また、実証に併せて、集落営農組織の組織力向上に向け、経営方針や事業継承、雇用環境整備等の経営改善につながる様々な伴走支援を行い、組織が安定経営できる基盤づくりを推進する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○水田輪作モデル構築事業（委託料）18,371千円 プロジェクトチーム結成や事務局運営、栽培実証の実施、水田輪作体系のモデルケース構築、実証内容の普及等のための現地見学会や研修会などを実施する。 ○アグリ経営アドバイザー事業（委託料）5,282千円 集落営農組織に対してヒアリングを実施し、事業継承や人材確保等の経営課題の掘り下げを行い、経営変革や改善につながる様々な助言・指導を通して、組織が持続的に安定経営できる基盤を構築していくための伴走支援を行う。 ○農業経営体への人材確保支援事業（委託料）2,761千円 農業経営体において、若い世代や他産業からの人材を受け入れるための体制づくりを実践的に行うため、就農を試行的に体験するための「お試し就農」を実施する。 ○スマート農業機械等導入支援事業（補助金）10,000千円 有効性が確認されたモデルケースを導入しようとする農業経営体に、実施に必要な機械や作業機等の導入支援を行い、モデルケースの効率的な普及拡大を図る。						
主なKPI	①地域における農業出荷額（+197百万円） ②実証を行う農業経営体のうち付加価値額を拡大する経営体数(+3件) ③モデルケースとして実用化に至る輪作体系件数(+3件) ④有効なモデルケースに取り組むためにスマート農業機械を導入する農業経営体数(+9件) ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.sendai.jp/machizukuri-kakuka/tiikimirai/tiikimirai.html

事業概要：地域と連携した地方への国内・国外誘客促進事業

継続

申請者	宮城県仙台市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	3,402,972千円 (1,726,760千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・本市ならではの特色あるコンテンツを発信し、国内・海外問わず観光客に選ばれる街づくりを行い、魅力的で活力のある持続可能な観光都市を目指す。 ・仙台への国内外からの来訪者数増加・滞在時間延長・観光消費額増加により、東北全体の周遊促進し、観光を基軸とした地域経済の活性化と持続的な成長を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 国内外に向けた認知向上と誘客促進を図るため、情報サイトの機能強化やSNS発信の強化を行い、認知から予約・来訪までの観光動線を整備する。併せて、地域ならではの観光コンテンツの創出に向けたブラッシュアップ等により、各エリアを活性化し、多様なニーズに対応する観光資源を形成・発信する。また、秋保大滝周辺エリアでは、滝見台と植物園との一体的整備を進める。					 	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・国内外観光客向けの情報発信体制の整備（委託料等）：347,621千円 ・多様なニーズに対応する観光資源の形成（負担金等）：503,789千円 ・持続可能な事業運営に資する事業者支援（補助金等）：98,850千円 ○拠点整備事業 ・滝見台、植物園園路設備整備工事：776,500千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①市内観光消費額（＋78,853百万円） ②東北6県における延べ観光客入込数（＋3,822万人） ③仙台観光情報サイトアクセス数（＋92万PV） ④海浜エリアに3時間以上滞在する人の割合（＋15%） ⑤秋保地区における年間宿泊者数（＋13万人泊） ⑥秋保大滝周辺エリア年間来訪者数の前年比増加率（＋50%）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.sendai.jp/mac hizukuri-kakuka/tiikimirai/tiikimirai.html